

冷間鍛造用の 潤滑剤塗布装置

協和工業が開発

自動車向けシヨイン

ト製造の協和工業(愛知県大府市)は、常温のまま鉄素材を加工する冷間鍛造用の潤滑剤塗布装置を開発した。

従来方式よりも工程を簡略にして小型化。汚水を出さないため「環境に優しい商品」として販売する。

潤滑剤は、鍛造時の摩擦で鉄が焼きつくのを防ぐため、事前に素材に塗布する。従来は脱脂、水洗、酸洗な

た。

湯洗、塗布、乾燥の三工程で済む潤滑剤を日本パーカライジング(東京)が開発。これに対応する装置を協和工業と共同で研究してきた。

皿一枚に乗るほどの装置に素材を数個ずつ投入すると、一分ほどで塗布作業が終わる。従来は三十分かかっていた。

設置スペースは十分の一以下、不良品発生率は八分の一以下に削減できるという。